

指定校番号	30018	○	学級活動		児童会活動		クラブ活動		学校行事
-------	-------	---	------	--	-------	--	-------	--	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原北小学校	校長	津田 秀司	生徒指導主事	利田 政美
-----	------------	----	-------	--------	-------

**取組事例名 『ドリームマップの作成等による肯定的な自己意識の醸成』**

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性・協働性」	2	「自己理解・自らへの自信」	1

**取組のねらい『キーワード：肯定的な自己意識』**

本校の児童の多くには、自分自身に十分な自信がもてず物事に消極的な態度がうかがえる。児童アンケート（5段階評定尺度）における評定平均値からも「つらい出来事があっても耐えられる」（3.02）「自分の未来にはきっといいことがある」（2.85）と、心の弱さが見受けられる。そこで、将来に希望を持たせる取組を行うことで、自己肯定感や主体性等、児童の肯定的な自己意識の醸成を図る。

**取組の具体的内容『キーワード：ドリームマップ，二分の一成人式』**

**【ドリームマップの作成】**

- ①自分の“好きなこと”を見つけよう！  
好きなこと、好きなもの、やってみたいこと、あこがれの人等を見つける。
- ②夢をかなえた自分になりきろう！  
夢をかなえた自分が持っている物とは、夢をかなえた自分はどんな人か、夢をかなえた自分が笑顔にしている人は、夢をかなえた自分が生きている社会は、等々を想像する。
- ③ドリームマップを作ろう！  
①や②で考えたことを基に、こうなったらいいな！こんなことしたいな！こんな大人になりたいな！と、ワクワク思うことを写真や絵、文字で台紙に描く。



- ④自分の夢を発表しよう！  
この夢を持ったきっかけ、ドリームマップの中で一番伝えたいところ、この夢をかなえるために頑張ること等を発表する。

**【二分の一成人式2部】**

- ①先輩から学ぼう！  
先輩からの激励の言葉を聞く。
- ②自分の夢を伝えよう！  
家族の前で自分が描いている夢を発表する。



**<児童の感想より>**

- ドリームマップを作って、自分の好きな色や好きな食べ物、得意なこと、興味があることなど、自分のことをもっと知ることができました。今まで自分には良いところがないなと思っていたけど、自分の良いところやがんばっている所を発見できて、自分のことが好きになりました。
- 私はドリームマップを作って、夢を持つことは楽しくて、元気が出ることがわかりました。夢をかなえた自分を考えるときがとても楽しかったです。自分の夢を追いかけるために、今の自分に何ができるか、これからも探していきます。
- ぼくは、ドリームマップを実際に作ったり発表したりして、自分の夢に少し近づいたなと思いました。これからも、ドリームマップをパワーアップさせていきたいです。
- 自分の夢を発表しているとき、みんなが、「すてき。」「できる。」「かなうよ。」「がんばって。」「最高。」と声をかけてくれたのでうれしかったです。夢を絶対にならしてみせろぞと思いました。
- 二分の一成人式のときに、自分の夢を発表しました。その夢をみんなが応援してくれました。家に帰ってお母さんが、「すてきな夢だね。がんばって。応援しているよ。」と言ってくれました。ぼくは、がんばるぞと思いました。

**取組の課題・創意工夫『キーワード：肯定的な自己意識』**

**<創意工夫>**

- ・ドリームマップを一枚の台紙の上に、4つの視点（自分の物、自分の心、他者、社会）でデザインしていくことで、自分の夢は自分だけでなくみんなも幸せにすることであることを意識させた。
- ・お互いに自分の夢を語り合うことで、児童同士のコミュニケーション能力や協働性の向上を図った。また、他者からの肯定的な言葉がけや評価により、自身に対する理解、意識の向上を図った。
- ・自分の思いを素直に文章に表すことが難しい児童には、文章モデルを示す等の支援を行った。

**<課題>**

- ・自分の考えをしっかりと発表できるよう、継続してコミュニケーション能力の向上を図る必要がある。

**取組の成果（効果）『キーワード：自己理解、主体性・積極性』**

- ・ドリームマップの作成を通して自己理解を深めることで、自分自身の良さに気づくことができた。
- ・他者に夢を聞いてもらったり応援してもらったりすることで、肯定的に自己を捉えられる様になった。
- ・自己肯定感を高めることで、心を強く持ち主体性や積極性が向上した。また、自分の将来に希望を見出す児童が増えた。

**<つらい出来事があっても耐えられる>**

事前	事後
3. 0 2	4. 1 5

**<自分の未来にはきっといいことがある>**

事前	事後
2. 8 5	4. 2 5

**今 後 の 展 開『キーワード：児童同士のかかわり、感謝の心』**

協働的な活動の場を多く設定し、その中で児童同士のかかわりや感謝の心を増やしていくことで、児童相互の信頼感を高めるとともに、他者に対する肯定的な意識や自己に対する自信を涵養していく。

**他 教 科 と の 関 わ り『キーワード：総合的な学習、道徳、各教科』**

特別活動での取組を要として総合的な学習の時間や道徳科の授業と関連させる。さらに、各教科の授業へも繋げていき、自己肯定感の醸成に対する取組を体系づける。